

平泉文化セミナー第 68 回例会の開催について

岩手大学平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を定期的に開催しております。

今回は、平泉文化セミナー第 68 回例会を下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。なお、今回は zoom を使ってオンラインでも同時開催します。

泉州安溪下草埔冶鉄遺址出土の墨書陶磁器について

明治大学兼任講師
岩手大学平泉文化研究センター 客員准教授

石黒ひさ子氏

要 旨：

泉州安溪下草埔冶鉄遺址は 2021 年に登録された世界遺産「泉州：宋・元時代の中国における世界のエンポリウム」の構成遺産の一つである。これは泉州の 2020 年世界遺産再申請のため追加された構成遺産で、宋元時代の製鉄遺跡である。2021 年にこの遺跡の考古学発掘報告書が刊行され、墨書陶磁器の出土が判明した。墨書陶磁器は平泉の柳之御所等でも出土があり、出土文字史料として重要である。

古代中国には什伍の制度があり、宋時代には保甲制が存在した。泉州安溪下草埔冶鉄遺址出土の墨書陶磁器には「伍」字があり、これは南宋時期に保甲制度から変化した保伍を示すものと考え得る。この事例から出土文字史料としての墨書陶磁器の可能性を考えたい。

令和 4 年 11 月 26 日（土） 13：30～15：00
岩手大学教育学部総合教育研究棟 2 階 E21 講義室

【Zoom によるオンライン開催のリンク】

・ <https://us04web.zoom.us/j/76779703288?pwd=RgFYNVFRRUUnuEfg5M62liI06wMOBtv.1>

・ ミーティング ID: 767 7970 3288

パスコード: 666888